

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	カナダ債券マザーファンド受益証券への投資を通じてカナダドル建ての債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーマザーファンド	カナダ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	カナダドル建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーマザーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# Navio カナダ債券ファンド



第84期（決算日：2019年4月18日）  
 第85期（決算日：2019年5月20日）  
 第86期（決算日：2019年6月18日）  
 第87期（決算日：2019年7月18日）  
 第88期（決算日：2019年8月19日）  
 第89期（決算日：2019年9月18日）



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「Navio カナダ債券ファンド」は、去る9月18日に第89期の決算を行いましたので、法令に基づいて第84期～第89期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		債権組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	額	F T S E インデックス (円ベース)	世界国債 カナダ 期騰落 中率			
	円	円	期騰落 %	期騰落 %	%	%	百万円
60期(2017年4月18日)	10,514	5	△1.6	468.98	△1.7	97.8	225
61期(2017年5月18日)	10,555	5	0.4	473.95	1.1	97.4	227
62期(2017年6月19日)	10,813	5	2.5	483.01	1.9	97.1	233
63期(2017年7月18日)	11,186	5	3.5	506.26	4.8	97.3	239
64期(2017年8月18日)	10,892	5	△2.6	493.58	△2.5	97.2	233
65期(2017年9月19日)	11,305	5	3.8	512.48	3.8	95.4	242
66期(2017年10月18日)	11,244	5	△0.5	504.65	△1.5	97.8	241
67期(2017年11月20日)	11,060	5	△1.6	497.80	△1.4	97.9	237
68期(2017年12月18日)	11,112	5	0.5	502.73	1.0	97.1	238
69期(2018年1月18日)	11,146	5	0.4	501.03	△0.3	96.7	240
70期(2018年2月19日)	10,513	5	△5.6	474.03	△5.4	96.8	228
71期(2018年3月19日)	10,122	5	△3.7	459.33	△3.1	96.7	218
72期(2018年4月18日)	10,629	5	5.1	481.80	4.9	97.4	229
73期(2018年5月18日)	10,633	5	0.1	483.85	0.4	97.5	228
74期(2018年6月18日)	10,481	5	△1.4	476.55	△1.5	97.4	227
75期(2018年7月18日)	10,751	5	2.6	489.59	2.7	97.2	233
76期(2018年8月20日)	10,556	5	△1.8	480.02	△2.0	97.6	228
77期(2018年9月18日)	10,632	5	0.8	487.14	1.5	97.2	230
78期(2018年10月18日)	10,634	5	0.1	484.75	△0.5	95.8	230
79期(2018年11月19日)	10,613	5	△0.2	486.88	0.4	96.6	230
80期(2018年12月18日)	10,576	5	△0.3	487.60	0.1	97.1	228
81期(2019年1月18日)	10,389	5	△1.7	475.31	△2.5	97.1	227
82期(2019年2月18日)	10,604	5	2.1	486.30	2.3	97.8	231
83期(2019年3月18日)	10,730	5	1.2	494.47	1.7	98.0	233
84期(2019年4月18日)	10,720	5	△0.0	495.10	0.1	98.0	231
85期(2019年5月20日)	10,563	5	△1.4	486.29	△1.8	93.6	228
86期(2019年6月18日)	10,611	5	0.5	491.23	1.0	94.3	230
87期(2019年7月18日)	10,764	5	1.5	499.11	1.6	97.8	233
88期(2019年8月19日)	10,732	5	△0.3	494.93	△0.8	97.9	233
89期(2019年9月18日)	10,688	5	△0.4	494.66	△0.1	97.7	232

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、F T S E世界国債インデックス カナダ (円ベース) です。

各国の国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、各国国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		(参考指数) F T S E 世界国債 インデックス カナダ		債券組入比率	債券先物比率
		円	騰落率	(円ベース)	騰落率		
第84期	(期首) 2019年3月18日	10,730	—	494.47	—	98.0	—
	3月末	10,711	△0.2	492.08	△0.5	97.7	—
	(期末) 2019年4月18日	10,725	△0.0	495.10	0.1	98.0	—
第85期	(期首) 2019年4月18日	10,720	—	495.10	—	98.0	—
	4月末	10,670	△0.5	490.21	△1.0	93.7	—
	(期末) 2019年5月20日	10,568	△1.4	486.29	△1.8	93.6	—
第86期	(期首) 2019年5月20日	10,563	—	486.29	—	93.6	—
	5月末	10,497	△0.6	487.72	0.3	94.4	—
	(期末) 2019年6月18日	10,616	0.5	491.23	1.0	94.3	—
第87期	(期首) 2019年6月18日	10,611	—	491.23	—	94.3	—
	6月末	10,770	1.5	496.69	1.1	94.3	—
	(期末) 2019年7月18日	10,769	1.5	499.11	1.6	97.8	—
第88期	(期首) 2019年7月18日	10,764	—	499.11	—	97.8	—
	7月末	10,785	0.2	497.79	△0.3	98.0	—
	(期末) 2019年8月19日	10,737	△0.3	494.93	△0.8	97.9	—
第89期	(期首) 2019年8月19日	10,732	—	494.93	—	97.9	—
	8月末	10,686	△0.4	494.04	△0.2	97.8	—
	(期末) 2019年9月18日	10,693	△0.4	494.66	△0.1	97.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第84期～第89期：2019年3月19日～2019年9月18日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第 84 期 首	10,730円
第 89 期 末	10,688円
既払分配金	30円
騰 落 率	-0.1%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は当作成期首に比べ0.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

カナダ金利が低下したことや債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

カナダドルが対円で下落したことや信託報酬などが基準価額の下落要因となりました。

第84期～第89期：2019年3月19日～2019年9月18日

## ▶ 投資環境について

### ▶ 債券市況

**カナダ金利は低下しました。**

2019年8月下旬にかけては、カナダ国内の経済指標は概ね堅調な内容であったものの、米中貿易摩擦を巡る不透明感や米国の金融緩和観測などから、カナダ長期金利は低下しました。その後、当作成期末にかけて、米中間で対立改善の兆しがみられたことなどを背景に、カナダ金利は上昇に転じたものの、当作成期を通じてみると、カナダ金利は低下しました。

### ▶ 為替市況

**カナダドルは対円で下落しました。**

2019年8月下旬にかけて、カナダ金利低下による本邦との金利差縮小などを背景に、カナダドルは対円で下落基調で推移しました。その後、当作成期末にかけて、カナダの主要輸出産品である原油価格が上昇したことなどを背景に、カナダドルは対円で上昇に転じたものの、当作成期を通じて見ると、カナダドルは対円で下落しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ N a v i o カナダ債券ファンド

カナダ債券マザーファンド受益証券への投資を通じてカナダドル建ての債券を高位に組み入れた運用を行いました。

### ▶ カナダ債券マザーファンド

カナダドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、当作成期を通じて、債券現物の組入比率は高位を維持しました。

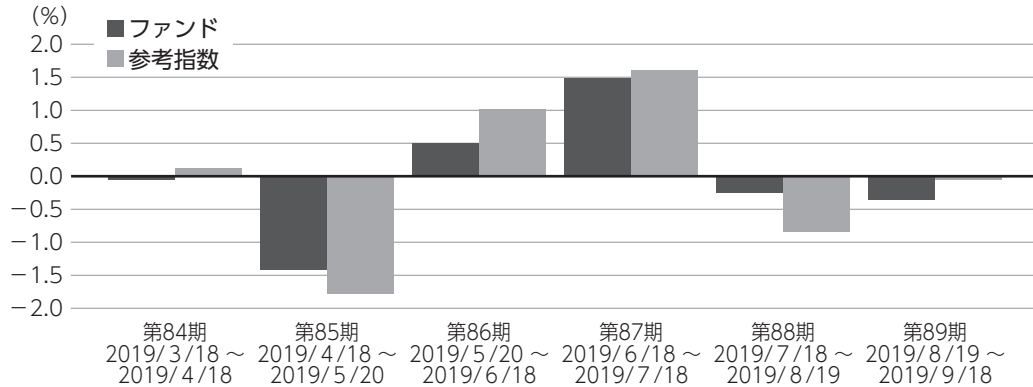
ファンドのデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、参考指数比概ね中立でコントロールしました。

カナダ国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を考慮し、政府機関債・州政府債の組み入れを維持しました。

第84期～第89期：2019/3/19～2019/9/18

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はF T S E 世界国債インデックス カナダ（円ベース）です。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第84期 2019年3月19日~ 2019年4月18日	第85期 2019年4月19日~ 2019年5月20日	第86期 2019年5月21日~ 2019年6月18日	第87期 2019年6月19日~ 2019年7月18日	第88期 2019年7月19日~ 2019年8月19日	第89期 2019年8月20日~ 2019年9月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 (0.047%)	5 (0.047%)	5 (0.047%)	5 (0.046%)	5 (0.047%)	5 (0.047%)
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	3,311	3,314	3,323	3,335	3,338	3,341

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ N a v i o カナダ債券ファンド

カナダ債券マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

### ▶ カナダ債券マザーファンド 組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを維持する方針です。

### 種別構成

国債に対する相対的なスプレッド動向に注視しつつ、当面は現状の投資比率を維持する方針です。

### デュレーション

カナダの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。



2019年3月19日～2019年9月18日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第84期～第89期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	64	0.597	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(31)	(0.288)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(31)	(0.288)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.034	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(3)	(0.027)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.005)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	68	0.631	

作成期中の平均基準価額は、10,672円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

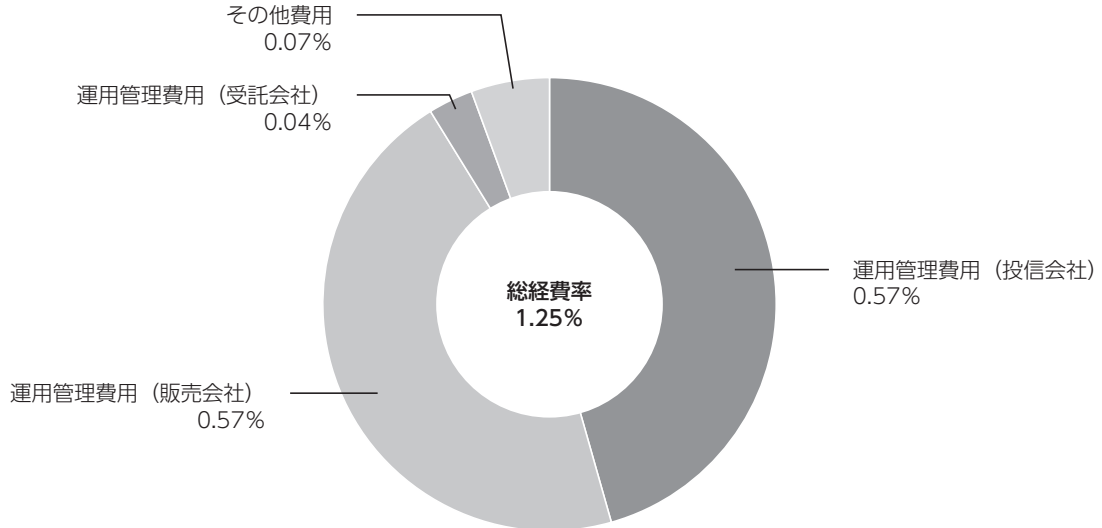
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.25%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年3月19日～2019年9月18日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第84期～第89期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
カナダ債券マザーファンド		1,665	2,008	3,601	4,361

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年3月19日～2019年9月18日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;N a v i o カナダ債券ファンド&gt;

該当事項はございません。

## &lt;カナダ債券マザーファンド&gt;

区 分	第84期～第89期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$		
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 2	百万円 0.83562	% 41.8

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年3月19日～2019年9月18日)

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 200	百万円 —	百万円 —	百万円 200	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2019年9月18日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第83期末		第89期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
カナダ債券マザーファンド			193,082		191,145	232,146

## ○投資信託財産の構成

(2019年9月18日現在)

項	目	第89期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
カナダ債券マザーファンド		232,146	99.6
コール・ローン等、その他		881	0.4
投資信託財産総額		233,027	100.0

(注) カナダ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(231,066千円)の投資信託財産総額(232,273千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1カナダドル=81.66円			
---------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項	目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
		2019年4月18日現在	2019年5月20日現在	2019年6月18日現在	2019年7月18日現在	2019年8月19日現在	2019年9月18日現在
		円	円	円	円	円	円
(A)	資産	232,066,940	228,971,182	230,573,940	234,200,424	233,713,410	233,027,608
	コール・ローン等	771,066	763,639	782,245	790,515	773,556	758,472
	カナダ債券マザーファンド(評価額)	231,157,849	228,083,184	229,679,196	233,294,209	232,813,525	232,146,622
	未収入金	138,025	124,359	112,499	115,700	126,329	122,514
(B)	負債	342,637	347,712	326,885	336,707	351,164	335,943
	未払収益分配金	108,082	108,217	108,496	108,635	108,726	108,857
	未払解約金	22	4	1,951	55	—	9
	未払信託報酬	233,656	238,586	215,623	227,158	241,526	226,226
	未払利息	1	1	1	1	1	1
	その他未払費用	876	904	814	858	911	850
(C)	純資産総額(A-B)	231,724,303	228,623,470	230,247,055	233,863,717	233,362,246	232,691,665
	元本	216,164,309	216,435,229	216,993,400	217,271,910	217,452,967	217,714,633
	次期繰越損益金	15,559,994	12,188,241	13,253,655	16,591,807	15,909,279	14,977,032
(D)	受益権総口数	216,164,309口	216,435,229口	216,993,400口	217,271,910口	217,452,967口	217,714,633口
	1万口当たり基準価額(C/D)	10,720円	10,563円	10,611円	10,764円	10,732円	10,688円

## ○損益の状況

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2019年3月19日～ 2019年4月18日	2019年4月19日～ 2019年5月20日	2019年5月21日～ 2019年6月18日	2019年6月19日～ 2019年7月18日	2019年7月19日～ 2019年8月19日	2019年8月20日～ 2019年9月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 22	△ 27	△ 19	△ 31	△ 22	△ 22
支払利息	△ 22	△ 27	△ 19	△ 31	△ 22	△ 22
(B) 有価証券売買損益	115,766	△ 3,038,463	1,357,731	3,651,545	△ 342,123	△ 612,481
売買益	159,446	39	1,396,757	3,658,886	107	121
売買損	△ 43,680	△ 3,038,502	△ 39,026	△ 7,341	△ 342,230	△ 612,602
(C) 信託報酬等	△ 234,532	△ 239,990	△ 216,437	△ 228,016	△ 242,437	△ 227,076
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 118,788	△ 3,277,980	1,141,275	3,423,498	△ 584,582	△ 839,579
(E) 前期繰越損益金	10,034,748	9,807,786	6,421,220	7,447,524	10,747,024	10,051,560
(F) 追加信託差損益金	5,752,116	5,766,652	5,799,656	5,829,420	5,855,563	5,873,908
(配当等相当額)	( 12,706,608)	( 12,797,170)	( 12,985,858)	( 13,130,335)	( 13,275,871)	( 13,376,442)
(売買損益相当額)	(△ 6,954,492)	(△ 7,030,518)	(△ 7,186,202)	(△ 7,300,915)	(△ 7,420,308)	(△ 7,502,534)
(G) 計 (D + E + F)	15,668,076	12,296,458	13,362,151	16,700,442	16,018,005	15,085,889
(H) 収益分配金	△ 108,082	△ 108,217	△ 108,496	△ 108,635	△ 108,726	△ 108,857
次期繰越損益金 (G + H)	15,559,994	12,188,241	13,253,655	16,591,807	15,909,279	14,977,032
追加信託差損益金	5,752,116	5,766,652	5,799,656	5,829,420	5,855,563	5,873,908
(配当等相当額)	( 12,706,918)	( 12,797,528)	( 12,986,403)	( 13,130,821)	( 13,276,366)	( 13,376,760)
(売買損益相当額)	(△ 6,954,802)	(△ 7,030,876)	(△ 7,186,747)	(△ 7,301,401)	(△ 7,420,803)	(△ 7,502,852)
分配準備積立金	58,869,506	58,930,192	59,132,009	59,335,323	59,323,102	59,368,851
繰越損益金	△49,061,628	△52,508,603	△51,678,010	△48,572,936	△49,269,386	△50,265,727

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ＜注記事項＞

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 217,992,350円  
 作成期中追加設定元本額 2,416,490円  
 作成期中一部解約元本額 2,694,207円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0688円です。

## ② 分配金の計算過程

項 目	2019年3月19日～ 2019年4月18日	2019年4月19日～ 2019年5月20日	2019年5月21日～ 2019年6月18日	2019年6月19日～ 2019年7月18日	2019年7月19日～ 2019年8月19日	2019年8月20日～ 2019年9月18日
費用控除後の配当等収益額	175,962円	169,448円	313,659円	363,319円	181,172円	167,325円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	12,706,918円	12,797,528円	12,986,403円	13,130,821円	13,276,366円	13,376,760円
分配準備積立金額	58,801,626円	58,868,961円	58,926,846円	59,080,639円	59,250,656円	59,310,383円
当ファンドの分配対象収益額	71,684,506円	71,835,937円	72,226,908円	72,574,779円	72,708,194円	72,854,468円
1万円当たり収益分配対象額	3,316円	3,319円	3,328円	3,340円	3,343円	3,346円
1万円当たり分配金額	5円	5円	5円	5円	5円	5円
収益分配金金額	108,082円	108,217円	108,496円	108,635円	108,726円	108,857円

## ○分配金のお知らせ

	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
1 万口当たり分配金 (税込み)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

## ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## カナダ債券マザーファンド

### 《第7期》決算日2019年3月18日

[計算期間：2018年3月20日～2019年3月18日]

「カナダ債券マザーファンド」は、3月18日に第7期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主としてカナダドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。投資にあたっては、カナダの国債、政府機関債、州政府債、政府保証債ならびにカナダドル建ての国際機関債等に投資を行います。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	カナダドル建ての債券を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) F T S E 世 界 国 債 インデックス カナダ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	(円ベース)	期 騰 落			
	円	%			%	%	百万円
3期(2015年3月18日)	12,906	11.9	536.02	11.6	96.4	—	256
4期(2016年3月18日)	11,833	△ 8.3	490.44	△ 8.5	96.7	—	235
5期(2017年3月21日)	11,621	△ 1.8	476.95	△ 2.8	98.0	—	228
6期(2018年3月19日)	11,201	△ 3.6	459.33	△ 3.7	96.9	—	218
7期(2019年3月18日)	12,086	7.9	494.47	7.7	98.2	—	233

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、F T S E 世界国債インデックス カナダ (円ベース) です。

各国の国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、各国国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) F T S E 世 界 国 債 インデックス カナダ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(円ベース)	騰 落 率		
(期首) 2018年3月19日	円	%		%	%	%
3月末	11,201	—	459.33	—	96.9	—
4月末	11,450	2.2	469.47	2.2	97.2	—
5月末	11,672	4.2	477.84	4.0	97.7	—
6月末	11,687	4.3	479.54	4.4	96.4	—
7月末	11,648	4.0	475.47	3.5	97.4	—
8月末	11,795	5.3	483.75	5.3	97.8	—
9月末	11,883	6.1	488.30	6.3	97.9	—
10月末	12,035	7.4	489.72	6.6	97.5	—
11月末	11,929	6.5	484.90	5.6	96.8	—
12月末	11,886	6.1	485.31	5.7	97.4	—
2019年1月末	11,579	3.4	471.99	2.8	97.5	—
2月末	11,799	5.3	483.66	5.3	97.3	—
(期末) 2019年3月18日	12,041	7.5	492.94	7.3	98.0	—
	12,086	7.9	494.47	7.7	98.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

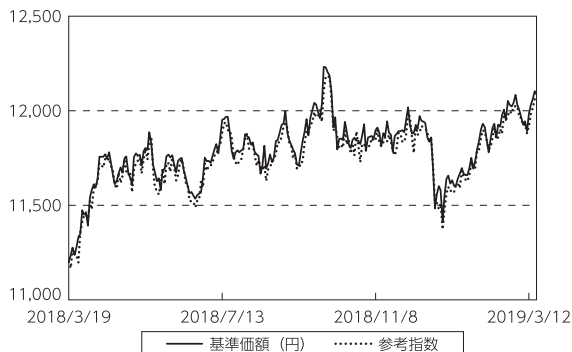
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.9%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎債券市況

・カナダ金利は低下しました。2018年10月上旬にかけては、北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉で米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）の合意に達し貿易政策を巡る不透明感が低下したことなどを背景に利上げ観測が高まり、カナダ金利は上昇しました。2019年年初にかけては、株式・原油市況の下落に伴う政策金利の引き上げ期待の後退などから、金利は低下しました。期末にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）議長の当面の利上げ休止示唆などを受けて世界的な株高など市場のリスクセンチメントが改善したものの欧州の景気減速懸念などを背景に金利はもみ合いながら推移し、期を通じてみると低下して終わりました。



## ◎為替市況

・カナダドルは対円で上昇しました。2018年10月上旬にかけては、世界的な株式市場の上昇など市場のリスクセンチメント改善や、カナダ銀行（BOC）の政策金利引き上げを受けて本邦との金利差が拡大したことなどから、カナダドルは対円で上昇しました。2019年年初にかけては、カナダと本邦の金利差が縮小したことなどからカナダドルは対円で下落基調で推移しました。その後、カナダの主要輸出品である原油などの商品価格が上昇したことなどから、カナダドルは対円で上昇に転じ、期を通じてみるとカナダドルは対円で上昇して終わりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・カナダドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて、債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・ファンドのデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、参考指数比概ね中立でコントロールしました。
- ・カナダ国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を考慮し、政府機関債・州政府債の組み入れを減らしました。
- ・前記の運用の結果、カナダ金利が低下したことやカナダドルが対円で上昇したこと、債券の利子収益を獲得したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・カナダ金利はもみ合う展開を想定します。BOCは経済の先行き不透明性の高まりに言及するなど当面様子見姿勢を維持することが予想され、長期金利はもみあう展開を見込みます。
- ・為替については、カナダ金利はもみ合う展開を見込む中で、日銀は「物価安定の目標」の実現に向けて、引き続き金融緩和姿勢を維持していることから、カナダドルは対円で概ね横ばいでの推移を想定します。

## ◎今後の運用方針

## （組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを維持する方針です。

## （種別構成）

- ・国債に対する相対的なスプレッド動向に注視しつつ、当面は現状の投資比率を維持する方針です。

## （デュレーション）

- ・カナダの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年3月20日～2019年3月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(7)	(0.062)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	(1)	(0.005)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	8	0.067	
期中の平均基準価額は、11,792円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年3月20日～2019年3月18日)

## 公社債

		買 付 額		売 付 額	
		千カナダドル		千カナダドル	
外 国	カナダ	国債証券	2,293		2,215
		地方債証券	396		441
		特殊債券	328		298

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年3月20日～2019年3月18日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1	百万円 —	% —	百万円 3	百万円 0.83749	% 27.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月18日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千カナダドル	千カナダドル	千円	%	%	%	%	%
カナダ	2,560	2,739	229,148	98.2	—	50.3	27.8	20.1
合 計	2,560	2,739	229,148	98.2	—	50.3	27.8	20.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
カナダ	%	千カナダドル	千カナダドル	千円			
国債証券	0.5 CAN GOVT 220301	0.5	110	106	8,903	2022/3/1	
	1 CAN GOVT 220901	1.0	80	78	6,551	2022/9/1	
	1.5 CAN GOVT 200301	1.5	420	419	35,076	2020/3/1	
	2 CAN GOVT 230901	2.0	70	71	5,954	2023/9/1	
	2 CAN GOVT 280601	2.0	120	122	10,278	2028/6/1	
	2.25 CAN GOVT 250601	2.25	300	310	26,001	2025/6/1	
	2.75 CAN GOVT 481201	2.75	200	232	19,414	2048/12/1	
	4 CAN GOVT 410601	4.0	120	162	13,573	2041/6/1	
	5 CAN GOVT 370601	5.0	90	131	11,014	2037/6/1	
	5.75 CAN GOVT 330601	5.75	90	133	11,173	2033/6/1	
	地方債証券	2.75 QUEBEC 280901	2.75	100	102	8,609	2028/9/1
		2.9 ONTARIO 280602	2.9	200	207	17,351	2028/6/2
	特殊債券	1.25 CANADA H 210615	1.25	320	316	26,466	2021/6/15
2 CANADA HOUSING 191215		2.0	140	140	11,733	2019/12/15	
	2.35 CANADA HOUSI 230615	2.35	200	203	17,045	2023/6/15	
合 計					229,148		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 229,148	% 98.1
コール・ローン等、その他	4,332	1.9
投資信託財産総額	233,480	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (231,929千円) の投資信託財産総額 (233,480千円) に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1カナダドル=83.64円			
---------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	233,480,134 円
コール・ローン等	3,186,334
公社債(評価額)	229,148,214
未収利息	875,039
前払費用	270,547
(B) 負債	127,644
未払解約金	127,642
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	233,352,490
元本	193,082,491
次期繰越損益金	40,269,999
(D) 受益権総口数	193,082,491口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,086円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 195,029,183円  
 期中追加設定元本額 6,213,718円  
 期中一部解約元本額 8,160,410円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1,2086円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 N a v i o カナダ債券ファンド 193,082,491円

## ○損益の状況 (2018年3月20日～2019年3月18日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	5,066,227 円
受取利息	5,067,578
支払利息	△ 1,351
(B) 有価証券売買損益	12,344,473
売買益	13,737,783
売買損	△ 1,393,310
(C) 保管費用等	△ 153,056
(D) 当期損益金(A+B+C)	17,257,644
(E) 前期繰越損益金	23,419,006
(F) 追加信託差損益金	1,081,806
(G) 解約差損益金	△ 1,488,457
(H) 計(D+E+F+G)	40,269,999
次期繰越損益金(H)	40,269,999

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。